

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 企業振興課	末續 友基
施策名	1 成長分野の新産業創出・育成	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 新たな基幹産業の創出(航空機関連産業)	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	158,576

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
世界的な拡大が見込まれる民間航空機需要を取り込み、受注拡大と雇用創出を図るため、航空機関連産業への県内企業の新規参入や企業間連携によるサプライチェーン構築・強化を促進するとともに、付加価値の高い航空エンジン部門での一貫生産体制の構築を目指し、県内企業の技術力向上、クラスター機能の強化など必要な環境整備を推進します。		i) 中核企業(大企業等)の誘致・育成 ii) 企業間連携や認証取得等による県内企業の育成・新規参入の支援								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 令和3年度には、本県に進出した大手重工業メーカーのエンジン工場が本格稼働を開始し、更なる工場拡張も検討されているほか、県内中堅企業においてエンジン部品を製造する工場が増設されるなど、本県航空機産業の中核企業の事業拡大が進んでいる。 また、県内企業の新規参入を促進するため、企業のステージに応じて専門家派遣やセミナー開催、認証取得の支援、企業間連携の促進を実施し、認証取得済企業は1社増の9社(九州1位)となったほか、治具等の製造など、具体的な受注を獲得する企業グループも出てきており、サプライチェーンの構築・強化が一定進んでいる状況である。 なお、目標としている航空機産業における売上高及び雇用者数については、現在算定中である。	
	航空機関連産業における売上高	目標値①	66億円	72億円	79億円	87億円	95億円	95億円(R7)		
		実績値②	50億円(H30)	算定中						進捗状況
		達成率②/①	—							—
	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)		
	航空機関連産業における雇用者数	目標値①	658人	722人	790人	867人	950人	950人(R7)		
	実績値②	500人(H30)	算定中					進捗状況		
	達成率②/①	—						—		

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等	
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率
				R3実績					R3目標	R3実績		
				R4計画	R4目標	R4実績						
事業実施の根拠法令等				事業対象								
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)									
所管課(室)名												
取組項目 ii	○	1	長崎県航空機クラスター強化推進事業費	101,194	49,276	10,954	県内企業の航空機産業への新規参入と事業拡大を加速するため、技術力向上や認証所得など、企業のステージに応じた支援強化と航空機に特化した企業間連携等を促進した。	【活動指標】	22	22	100%	●事業の成果 ・コロナ禍の影響により、航空機産業の需要が縮小する中、航空機産業は大きな影響を受けたが、大手重工業メーカーが立地したことを積極的に生かすことで、地場企業とのマッチング件数は目標を達成した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・本事業の成果は事業群の成果と同じであり、その実績は現在算定中であるが、認証取得支援や企業間連携の促進などの取組により、県内企業によるサプライチェーンの構築・強化が図られている。
				158,576	2,879	10,127		22	23	104%		
				172,588	37,138	9,985		22				
	R2-4					【成果指標】	60	41	68%			
	企業振興課				県内企業	県内航空機関連産業売上高(億円)	72					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 中核企業(大企業等)の誘致・育成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和2年に立地した大手重工メーカーは、令和4年2月に本格的に稼働し、製品の出荷を開始した。また、県内中核企業も令和3年12月に新工場が完成しており、県内航空機産業は順調に成長・集積が進んでいる。しかしコロナ禍の影響がある中、サプライチェーン強化のためには、新たな需要の獲得と次なる中核企業(大企業等)の誘致・育成が必要。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 コロナ禍での需要減少に対して中核企業の新たな需要獲得に向け、国内外展示会出展支援などの取引拡大支援を行う。また、次なる中核企業(大企業等)の誘致にも積極的に取り組む。</p>
<p>ii 企業間連携や認証取得等による県内企業の育成・新規参入の支援</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 航空機事業への参入に必要な認証取得(JISQ9100)の取得企業数は九州第1位となり、積極的なマッチングの結果、大手重工メーカーとの取引を行う県内企業も現れている。一方で、更なる取引拡大にはサプライチェーンの強化が必要であるため、既参入企業の技術力強化および品質管理体制の構築、ならびに一貫生産体制構築に向けた企業間の連携が引き続き課題である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 意欲が高い企業の新規参入や取引拡大のため、中核企業、県外企業とのビジネスマッチングを実施するとともに、技術力向上のための試作支援や品質保証セミナー開催などによる人材育成に取り組んでいく。また、デジタル技術を活用した企業間連携の深化を図る。</p>

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容		令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 ii	○	1	長崎県航空機クラスター強化推進事業費 R2-4 企業振興課	中核企業の新たな需要獲得に向け、国内に加え海外展示会への出展支援を実施するとともに、県内企業グループによる一貫生産体制の構築とさらなる受注獲得に向けて、共同で利用できる生産設備稼働状況管理システムを整備し、企業間連携の深化を図る。	②	事業終期を迎えることから、これまでの事業効果を検証しつつ、サプライチェーンの重層化を図るため、中核企業となり得るポテンシャルを有する企業の取組を支援し中核企業を育成するといった観点から次年度以降の事業構築につなげる。	終了

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点